

眼科医ら専門職の  
ゴールボールチーム

## 全国大会を初開催

眼科診療や視覚ケアを行なう人らのチームによる「第1回眼科領域チャレンジゴールボール交流大会」が6月3日、島根県で開かれた。5チーム総当たりの結果、島根大の「島根スサノオアイズ」が初優勝を決めた。

大会は、チーム間の交流を図り、視覚障害スポーツへの理解と普及を推進することを目的に発足した「眼科領域ゴールボール交流会」が主催。他の4チームは、埼玉医科大の「彩のまが玉」、久留米大(福岡)の「Team

KG」、愛媛大の「ホワイトストーンズ」、井上眼科病院(東京)の「お茶の水アイズ」。

ゴールボールは、3対3で行う球技。選手全員がアイシールドを着け、鈴の入ったボールを相手ゴールに入れて、得点を競う。眼科医らのチームは2021年2月、島根大眼科学講座内に全国で初めて結成された。講座の講師、佐野一矢いちやさんは「生きがいを感じられるツールとして、患者にスポーツを紹介しており、ケアする側も加わって、初心者、障害の有無に関係なく交流できる場を目指し、チームを作りました」と話す。【澤田健】